

校長式辞

本日、ここに商船学科 **43** 名、情報機械システム工学科 **85** 名、情報機械システム工学科三年次編入生の留学生 **2** 名、電子機械工学科四年次編入生 **1** 名の合計 **131** 名の新入生を迎え、さらに専攻科生産システム工学専攻に **8** 名の進学者を迎えて、令和 **3** 年度の入学式を挙行できますことは、私ども鳥羽商船高等専門学校教職員ならびに在校生一同にとりまして、大きな喜びです。入学生の皆さん、誠におめでとうございます。

皆さんが入学された鳥羽商船高等専門学校は、長い歴史のある学校で、今年で **140** 年を迎え、教育・研究のさらなる充実と発展を期しているところです。

本校では全ての学生が心すべき三つの教育目標を掲げ、人間力にあふれた、創造性豊かで国際的に活躍できる、高度な実践的技術者の育成を行っています。

この場には、礼儀をわきまえ、他人を思いやる心を持った人、海や船に興味がある人、ものづくりに興味がある人、エンジニアや科学者を目指す人、自らの夢に向かって進もうとする人、積極的なコミュニケーションをすることで、国際社会で活躍したい人が集まっています。

さて、私はこの場で新入生の皆さんに二つのお願いをします。

○ 一番目は、「他人の個性を認め、尊重すること。」

私たち人間には、それぞれ個性があり、同じ作業でもさっさと素早くやるひと、時間のかかるひとがあります。時には素早くやってのけることが大事なときもあり、また、時間をかけて、念には念を入れて、丁寧な作業が必要なときもあるのです。それぞれの得意なところをお互いに認め、尊重し互いを理解し助け合うように努力してください。楽しい気持ちの良いクラスを創っていくことも、世界平和を構築することも、この「他人の個性を認め、尊重する。」という同じ考え方が基本となっています。「他人を思いやる」、これはコロナウイルスと戦っていくうえでも大事なことです。

○ 二番目は、「志を立てて進むこと。」

「志を立てる」ということは、自分自身の目標を設定し、在学期間中、ぶれない・諦めない

で「志」に向かって進んでいくということです。ここで云う「志」は、皆さんが迷った時、進むべき道を照らす松明（たいまつ）の役目を果たします。学年が進むとともに「志」がだんだん具体的になっていくように強く希望します。

次に学生寮に入る皆さんにお願いをします。皆さんにとって寮生活はおそらく初めての経験だと思いますが、寮はクラスやクラブ活動とは異なった共同生活の場です。皆さんが楽しくかつ実りある寮生活を送るために一番大切なことは、一番目で御願いをした「他人の個性を認め、尊重する。」ということです。寮生活の経験が、一生の宝物になるか否かは「他人の個性を認め、尊重する。」の一点にかかっています。

結びになりますが、本校では、学則に則り、用意した教育カリキュラムに従って学生の皆さんの教育に当たってまいります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育にご理解をいただき、お力添え、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げて、式辞といたします。

令和3年4月6日

鳥羽商船高等専門学校長 和泉 充